

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月9日
【四半期会計期間】	第55期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	エバラ食品工業株式会社
【英訳名】	EBARA Foods Industry, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 宮崎 遵
【本店の所在の場所】	横浜市西区北幸二丁目5番15号 日総第三ビル
【電話番号】	(045) 314-0121 (代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 高井 孝佳
【最寄りの連絡場所】	横浜市西区北幸二丁目5番15号 日総第三ビル
【電話番号】	(045) 314-0121 (代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 高井 孝佳
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第54期 第2四半期 連結累計期間	第55期 第2四半期 連結累計期間	第54期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(千円)	25,853,006	24,463,663	49,094,820
経常利益(千円)	1,783,135	1,034,925	1,838,695
四半期(当期)純利益(千円)	976,000	536,115	652,485
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,013,699	511,259	727,935
純資産額(千円)	19,442,081	19,378,754	19,155,141
総資産額(千円)	32,394,034	32,698,916	31,566,497
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	91.98	50.53	61.49
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	60.0	59.3	60.7
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,040,621	1,176,541	1,312,076
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	502,321	235,618	886,913
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	286,482	285,541	288,367
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	6,186,920	4,374,650	6,071,374

回次	第54期 第2四半期 連結会計期間	第55期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	37.07	40.35

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）におけるわが国経済は、復興需要等を背景に緩やかな景気回復の動きがあるものの、欧州政府債務危機の深刻化や円高の長期化等から、依然として先行き不透明な状況が継続しております。食品業界におきましても、消費者の低価格志向や節約志向が継続する等、厳しい経営環境が続いております。

当社グループは、エバラブランドの目指す姿である「新しいおいしさにより、そこに人が集い、笑顔が生まれる」の実現に向け、“たれ・素・スープ”を中心とした調味料でお客様との幅広い接点を持ち、家族の“絆づくり”やお客様のお役立ちを創造することをミッションとして経営を推進しております。4月にはフェイスブックに公式ファンページを立ち上げ、「食を通じて人と人との絆をつくる」をテーマに、当社のおいしいレシピや食に関する豆知識等、さまざまな話題を紹介し、お客様とのコミュニケーションを促進しております。また、7月からは『黄金の味』のCMタレントに女性からの支持が高い観月ありさを起用し、等身大の主婦像を描いたCMを通じて、『黄金の味』を使ってちゃちゃっと調理ができる「簡単・便利」の価値とともに、健康的な生活には肉と野菜をバランスよく食べるのが大切であることを訴求するプロモーションを展開いたしました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、244億63百万円（前年同期比5.4%減）となりました。その主な要因としては、『具だくさん焼肉のたれ』が前年を下回る売上推移となったこと、及びチルド商品の取扱いを持分法適用会社に移管した影響が挙げられますが、当第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日～平成24年9月30日）においては、『黄金の味』や『すき焼のたれ』等の主力商品が好調に推移し、売上面での回復傾向も見られました。

利益面については、原材料価格の抑制により売上原価率の低減を図りましたが、当第2四半期連結会計期間における売上面での力強い回復があったものの前年同期の水準にまで至らなかった影響により、営業利益は10億30百万円（前年同期比40.8%減）、経常利益は10億34百万円（前年同期比42.0%減）、四半期純利益は5億36百万円（前年同期比45.1%減）となりました。

事業におけるセグメントの概況は、以下のとおりであります。

#### (食品事業)

家庭用商品は前年同期売上高を下回りました。

肉まわり調味料群については、前年の勢いが鈍化した『具だくさん焼肉のたれ』の影響等により前年同期売上高を下回りましたが、『おろしのたれ』が好調に推移したことに加え、「肉1tキャンペーン」や肉の効能を訴求するCM等の肉消費の底上げを図る施策が奏功したことにより肉まわり調味料群全体が活性化され、特に『黄金の味』が8月以降に力強い伸びを示しました。鍋物調味料群についても、10月初旬まで続いた猛暑により鍋物調味料の立ち上がりが遅れた影響等もあり前年同期売上高を下回りましたが、『すき焼のたれ』が好調に推移したほか、8月にリニューアルした『キムチ鍋の素』も堅調に推移し、手頃なサイズが消費者の好感を得た新商品『韓国チゲの素』シリーズも順調な売れ行きを見せました。野菜まわり調味料群も前年同期売上高を下回りましたが、『浅漬けの素』については、震災後に一時的に供給量を増やした反動により前年同期実績には届かなかったものの、前々期以上の水準で堅実に推移しております。その他群については、チルド商品の取扱いを持分法適用会社に移管した影響等により前年同期売上高を下回りました。

業務用商品につきましては、特注品の減少等が影響したその他群をはじめ、肉まわり調味料群及びスープ群も前年同期実績を下回った結果、前年同期売上高を下回りました。

以上の結果、食品事業の売上高は217億32百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

#### (その他事業)

その他事業につきましては、広告宣伝事業、物流事業及び人材派遣事業がいずれも前年同期実績を上回った結果、その他事業の売上高は27億30百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ16億96百万円減少して43億74百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、11億76百万円（前年同四半期は10億40百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益において9億99百万円獲得した一方、売上債権の増加27億9百万円による減少等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億35百万円（前年同四半期は5億2百万円の使用）となりました。これは主に、有価証券の取得による支出6億99百万円と、有価証券の償還による収入4億円等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2億85百万円（前年同四半期は2億86百万円の使用）となりました。これは、配当金の支払額2億84百万円と自己株式の取得による支出1百万円によるものであります。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、3億51百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,222,400
計	25,222,400

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	12,398,400	12,398,400	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	12,398,400	12,398,400	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	12,398,400	-	1,387,136	-	1,655,201

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
有限会社ウッドヴィレッジ	横浜市西区北幸二丁目5-15	1,565	12.62
株式会社池竹研究所	横浜市港北区篠原西町30-3	1,209	9.75
モルガンスタンレーアンドカン パニーエルエルシー	渋谷区恵比寿四丁目20-3 恵比寿ガーデンブ レイスタワー (常代)モルガン・スタン レーM U F G証券株式会社	1,029	8.29
エバラ食品工業株式会社 従業員持株会	横浜市西区北幸二丁目5-15 日総第3ビル	772	6.22
ザバンクオブニューヨークノン トリーティージャスデックアカ ウント	千代田区丸の内二丁目7-1 決済事業部 (常代)株式会社三菱東京U F J銀行	434	3.50
株式会社横浜銀行	中央区晴海一丁目8-12 晴海アイランドトリ トンスクエアオフィスタワーZ棟 (常代) 資産管理サービス信託銀行株式会社	360	2.90
森村忠司	横浜市港北区	292	2.36
株式会社榎本武平商店	江東区新大橋二丁目5-2	230	1.85
森村剛士	横浜市港北区	216	1.74
有限会社ケイアンドケイオフィ ス	横浜市港北区篠原台町2-25	180	1.45
計	-	6,288	50.72

(注) 1. 上記のほか、自己株式が1,789千株あります。

2. 西村あさひ法律事務所(事務上の連絡先)から、平成23年12月28日付の大量保有報告書の変更報告書の写しの送付があり、平成23年12月21日現在でそれぞれ以下のとおり株式を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (株)	株券等保有割合 (%)
オークツリー・ジャパン・オポ チュニティーズ・ファンド・エル ピー	Walkers SPV Limited, Walker House PO BOX 908 GT, George Town, Grand Cayman, Cayman Islands	株式 1,029,000	8.30
オー・シー・エム・オポチュニ ティーズ・ファンド・ファイブ・ エルピー	2711 Centerville Road, Suit 400, Wilmington, Delaware 19808, USA	株式 358,000	2.89

## (7)【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,789,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,413,000	10,413	-
単元未満株式	普通株式 196,400	-	-
発行済株式総数	12,398,400	-	-
総株主の議決権	-	10,413	-

(注) 「単元未満株式」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が200株含まれております。

## 【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
エバラ食品工業株式会社	横浜市西区北幸二丁目5番15号	1,789,000	-	1,789,000	14.43
計	-	1,789,000	-	1,789,000	14.43

(注) 上記の他、単元未満株式649株を所有しております。

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,763,209	4,942,444
受取手形及び売掛金	9,152,079	11,862,835
有価証券	700,112	949,986
商品及び製品	1,303,569	1,341,546
原材料及び貯蔵品	438,829	435,972
繰延税金資産	427,474	427,368
その他	552,138	587,362
貸倒引当金	4,375	4,647
流動資産合計	19,333,038	20,542,869
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,008,831	3,008,831
その他(純額)	5,167,244	5,286,977
有形固定資産合計	8,176,076	8,295,808
無形固定資産		
投資その他の資産	349,325	339,301
投資有価証券	1,994,026	1,834,211
長期貸付金	10,791	7,789
繰延税金資産	1,008,265	1,025,327
その他	751,500	710,134
貸倒引当金	56,526	56,526
投資その他の資産合計	3,708,057	3,520,937
固定資産合計	12,233,459	12,156,047
資産合計	31,566,497	32,698,916

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,063,419	6,543,634
短期借入金	166,404	166,404
未払金	1,419,476	1,382,549
未払法人税等	533,319	468,093
賞与引当金	270,941	268,479
販売促進引当金	485,714	551,943
その他	389,033	854,297
流動負債合計	9,328,309	10,235,401
固定負債		
退職給付引当金	2,842,615	2,843,526
資産除去債務	11,563	11,644
その他	228,867	229,590
固定負債合計	3,083,046	3,084,760
負債合計	12,411,356	13,320,162
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,387,136	1,387,136
資本剰余金	1,655,257	1,655,257
利益剰余金	17,866,080	18,115,738
自己株式	1,860,411	1,861,600
株主資本合計	19,048,061	19,296,530
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124,277	92,901
為替換算調整勘定	17,197	10,677
その他の包括利益累計額合計	107,079	82,224
純資産合計	19,155,141	19,378,754
負債純資産合計	31,566,497	32,698,916

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	25,853,006	24,463,663
売上原価	13,085,431	12,331,944
売上総利益	12,767,574	12,131,718
販売費及び一般管理費	11,027,451	11,101,492
営業利益	1,740,122	1,030,226
営業外収益		
受取利息	13,259	6,297
受取配当金	16,135	16,839
受取賃貸料	18,706	9,914
保険解約返戻金	5,544	22,893
その他	14,848	12,637
営業外収益合計	68,494	68,581
営業外費用		
支払利息	1,826	1,828
持分法による投資損失	22,395	61,740
その他	1,259	313
営業外費用合計	25,481	63,881
経常利益	1,783,135	1,034,925
特別利益		
固定資産売却益	722	-
災害損失引当金戻入額	11,838	-
特別利益合計	12,561	-
特別損失		
固定資産除却損	9,947	30,184
投資有価証券評価損	10,341	3,447
その他	-	2,129
特別損失合計	20,289	35,761
税金等調整前四半期純利益	1,775,407	999,164
法人税等	799,406	463,048
少数株主損益調整前四半期純利益	976,000	536,115
四半期純利益	976,000	536,115

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	976,000	536,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,148	31,376
為替換算調整勘定	449	6,520
その他の包括利益合計	37,699	24,855
四半期包括利益	1,013,699	511,259
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,013,699	511,259
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,775,407	999,164
減価償却費	581,298	543,149
固定資産除却損	9,947	30,184
固定資産売却損益(は益)	722	-
投資有価証券評価損益(は益)	10,341	3,447
貸倒引当金の増減額(は減少)	67	271
退職給付引当金の増減額(は減少)	73,380	910
賞与引当金の増減額(は減少)	32,017	2,461
販売促進引当金の増減額(は減少)	31,703	66,228
災害損失引当金の増減額(は減少)	53,369	-
受取利息及び受取配当金	29,395	23,136
支払利息	1,826	1,828
持分法による投資損益(は益)	22,395	61,740
売上債権の増減額(は増加)	1,313,742	2,709,069
たな卸資産の増減額(は増加)	119,769	34,552
仕入債務の増減額(は減少)	540,823	479,852
未払消費税等の増減額(は減少)	54,258	1,096
長期未払金の増減額(は減少)	6,720	-
未払金の増減額(は減少)	78,669	73,721
その他	4,059	12,391
小計	1,575,706	669,653
利息及び配当金の受取額	27,309	22,835
利息の支払額	1,826	1,828
法人税等の支払額	560,567	527,896
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,040,621	1,176,541
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
貸付金の回収による収入	4,096	5,512
貸付けによる支出	5,500	500
定期預金の払戻による収入	30,100	536,000
定期預金の預入による支出	542,000	312,032
投資有価証券の償還による収入	300,000	-
投資有価証券の取得による支出	4,157	4,321
有価証券の償還による収入	890,143	400,000
有価証券の取得による支出	499,770	699,800
有形固定資産の売却による収入	938	-
有形固定資産の取得による支出	404,150	145,718
無形固定資産の取得による支出	18,671	54,962
関係会社株式の取得による支出	250,000	-
ゴルフ会員権の取得による支出	3,500	-
その他	149	40,204
投資活動によるキャッシュ・フロー	502,321	235,618

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	284,820	284,352
自己株式の取得による支出	1,662	1,188
財務活動によるキャッシュ・フロー	286,482	285,541
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	977
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	251,818	1,696,724
現金及び現金同等物の期首残高	5,935,101	6,071,374
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,186,920	4,374,650

【会計方針の変更】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ8,199千円増加しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
給料手当	1,521,595千円	1,568,317千円
退職給付費用	210,047	186,737
減価償却費	123,132	113,450
宣伝費	1,450,433	1,530,688
拡販費	2,961,539	3,062,773
賞与引当金繰入額	176,333	169,697
販売促進引当金繰入額	536,810	551,943

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	6,757,849千円	4,942,444千円
預入期間3ヶ月を超える定期預金	870,947	767,980
有価証券勘定	300,018	200,186
現金及び現金同等物	6,186,920	4,374,650

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年4月27日 取締役会	普通株式	286,511	27	平成23年3月31日	平成23年6月10日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年4月27日 取締役会	普通株式	286,457	27	平成24年3月31日	平成24年6月8日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	食品事業		
売上高			
外部顧客に対する売上高	23,295,539	2,557,466	25,853,006
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	23,295,539	2,557,466	25,853,006
セグメント利益	1,830,704	91,594	1,922,298

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告宣伝事業、物流事業、人材派遣事業を集約しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,830,704
「その他」の区分の利益	91,594
全社費用(注)	182,175
四半期連結損益計算書の営業利益	1,740,122

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	食品事業		
売上高			
外部顧客に対する売上高	21,732,974	2,730,689	24,463,663
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	21,732,974	2,730,689	24,463,663
セグメント利益	1,191,869	59,253	1,251,123

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告宣伝事業、物流事業、人材派遣事業を集約しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額  
 の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,191,869
「その他」の区分の利益	59,253
全社費用(注)	220,896
四半期連結損益計算書の営業利益	1,030,226

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。

( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日 )	当第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日 )
1 株当たり四半期純利益金額	91円98銭	50円53銭
( 算定上の基礎 )		
四半期純利益金額 ( 千円 )	976,000	536,115
普通株主に帰属しない金額 ( 千円 )	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 ( 千円 )	976,000	536,115
普通株式の期中平均株式数 ( 株 )	10,611,200	10,609,085

( 注 ) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

( 重要な後発事象 )

当社は平成24年10月31日開催の取締役会において、香港に新たな子会社を設立することを決議いたしました。

設立の目的

当社グループは、従来から連結子会社荏原食品 ( 上海 ) 有限公司において中国市場を中心に東アジア市場の拡大を図ってまいりました。この度、香港を含む中国における事業の成長を加速させるとともに、成長が著しい東南アジア市場に向けたブランドの発信拠点及び参入機会を探るための海外拠点として、香港に子会社を設立いたします。

子会社の概要

商号	Ebara Foods Hong Kong Limited ( 予定 ) ( 中国名 : 荏原食品香港有限公司 ( 予定 ) )
所在地	中華人民共和国香港特別行政区
代表者	関 進
資本金	500万香港ドル ( 日本円 : 約50百万円 )
設立年月日	平成24年11月 ( 予定 )
出資比率	エバラ食品工業株式会社 100%
事業内容	調味料の販売および貿易事業、東南アジアの食品市場調査と事業支援

今後の業績に与える影響

当期連結業績に与える影響は軽微となる見込みであります。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月8日

エバラ食品工業株式会社  
取締役会 御中

### 三優監査法人

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 杉田 純 印

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 小林 昌敏 印

業務執行社員 公認会計士 熊谷 康司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているエバラ食品工業株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、エバラ食品工業株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。